

栃木県わがまち未来創造事業計画書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	芳賀町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	自治会活動活性化事業	総事業費	2,907,706	2,023,676	1,616,000	1,454,000	1,454,000	9,455,382
		うち市町支出額	2,829,000	1,669,000	1,404,000	727,000	727,000	7,356,000
		うち県交付金	1,414,500	834,500	702,000	0	0	2,951,000
2	芳賀町夏祭り祇園祭活性化事業	総事業費	1,109,692	2,521,660	2,000,000	1,000,000	1,000,000	7,631,352
		うち市町支出額	1,100,000	2,500,000	2,000,000	250,000	250,000	6,100,000
		うち県交付金	550,000	1,250,000	1,000,000	0	0	2,800,000
3	延生地蔵草夜待ち盆踊りを通じた地域の絆創生事業	総事業費	1,702,347	1,405,300	1,130,000	1,100,000	1,100,000	6,437,647
		うち市町支出額	1,150,000	750,000	630,000	250,000	250,000	3,030,000
		うち県交付金	575,000	375,000	315,000	0	0	1,265,000
4	西水沼自治会・住民交流推進事業	総事業費	446,098	480,897	440,000	420,000	420,000	2,206,995
		うち市町支出額	420,000	420,000	420,000	210,000	210,000	1,680,000
		うち県交付金	210,000	210,000	210,000	0	0	630,000
5	そば打ちによる地域交流推進事業	総事業費	106,900	378,776	328,427	90,000	91,000	995,103
		うち市町支出額	90,000	300,000	220,000	45,000	45,000	700,000
		うち県交付金	45,000	150,000	110,000	0	0	305,000
市町計		総事業費	6,272,743	6,810,309	5,514,427	4,064,000	4,065,000	26,726,479
		うち市町支出額	5,589,000	5,639,000	4,674,000	1,482,000	1,482,000	18,866,000
		うち県交付金	2,794,500	2,819,500	2,337,000	0	0	7,951,000

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	芳賀町
事業名	自治会活動活性化事業
事業主体の名称	芳賀町自治会連合会
代表者の名称	芳賀町自治会連合会長 廣田 靖
事業主体の所在	芳賀町大字祖母井1020
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:自治会の発展と地域コミュニティの増進 ・設立年月日:昭和44年11月28日 ・構成員:自治会長14名 ・各大字自治会の課題解決や地域の活性化について、自治会連合会において意見交換をしながら、本事業を実施していく。
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>芳賀町は、町内に14の自治会があり、これまで各自治体がそれぞれの地域活動に取り組んできた。しかし、近年、少子高齢化にともない、自治会加入率が低下し、地域活動への参加者も減少しており、途絶えてしまった地域伝統行事も出てくるなど、地域の伝統行事の存続が危ぶまれている。また、自治会は、住民の交流の場となるだけでなく、災害の際には隣近所で助け合う文化を根付かせてきたなくてはならないもので、自治会活動の衰退は、地域住民の暮らしを脅かしかねない。</p> <p>この危機を乗り越えるためには、各自治会単独ではなく、町内14自治会が連携して問題の解決に当たることが重要である。昭和44年に芳賀町自治会連合会を設立し、自治会活動の見直しなどを行ってきたところである。</p> <p>しかし、地域活動への参加者の減少は、若者世代の流出に加え、住民自身が『地域の良さ』『地域の魅力』を感じる事が少なくなってきたことも一因と考えられることから、いかにして住民の郷土愛を醸成しつつ外から人を呼び込んでいくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統行事を継承していく。 ・自治会加入率を上げ、地域活動への参加者を増やす。 ・住民の郷土愛を醸成する。 ・「住民が『自慢したくなる町』として外から人を呼び込む。 ・住民の健康づくりの意識を高める。 ・住民の防災意識を高める。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①意見交換会の開催(月1回)・・・各自治会の課題・情報共有により、好事例を町内全域に波及させる。 ②情報発信(行事前後)・・・芳賀チャンネルで情報発信することで、地域活動への参加や自治会加入を促す。 ③地域行事の復活・継承・・・親子盆踊り(8月)、ほうじほ祭り(10月中旬)、正月飾りづくり(12月上旬)で、世代間交流を図る。 ④伝統芸能の継承(月1回)・・・子どもたちが伝統芸能を学ぶ機会や披露する場を新たに作る。(お囃子、太鼓打ち手の育成) ⑤地域資源の活用・・・住民による地域資源マップの作成、地域PRを行い、地域の良いところを自ら発信することで地域の良さを再確認する。地域の歴史と民俗を次世代に伝える交流会を実施する。 ⑥防災意識の向上(10月～12月) <p>(1)災害時の安否確認訓練(11月下旬)・・・集落ごとに安否確認訓練を行い、地域防災力の向上を図る。 (2)火災時の体制の整備(10～12月)・・・消火訓練の実施。消防団等と協力し、火災時に対応できる体制を整え、地域防災力の向上を図る。</p> <p>⑦健康づくり事業(10月下旬)・・・食生活改善推進員と連携した事業実施により、健康づくりの意識付けをする。イベント時に提供する食事の調理をしてもらい、試食後に健康的な調理法についての講義を行う。健康運動教室及びウォーキング大会を新たに開催する。</p> <p>【平成31年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組を継続しつつ、効果を検証しながらさらなる取組を検討していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標</p> <p>芳賀町への新しいひとの流れをつくる 15～45歳の純移動者数 H25 △101人→H31 144人 【H29実績 △39人】 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。 純移動者数 H25 △104人→H31 171人 【H29実績 △35人】</p> <p>地域コミュニティの維持と活性化(施策5-1-1) KPI:自治会加入世帯数 H26 3.812世帯→H31 3.900世帯 【H28実績 3.753世帯】</p> <p>町民の健康度の向上(施策4-1-4) KPI:健康づくりに取り組みやすい環境が整っている。(NSI値)H27 61.2→H31 66.0 【H29実績 63.3】</p> <p>地域防災力の向上(施策5-4-2) KPI:防災上不安があると思う町民の割合 H27 20.2%→H31 20.0% 【H29実績 20.7%】 広報機能の充実(施策5-2-1) KPI:必要とする行政情報が容易に入手できる。(NSI値) H27 64.5→H31 70.0 【H29実績 63.2】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①意見交換会の開催 ②芳賀チャンネル等で 広報 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域伝統芸能の伝承 ⑤地域資源の活用 ⑥防災意識の向上 ⑦健康づくり	①意見交換会の開催 ②芳賀チャンネル等で 広報 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域伝統芸能の伝承 ⑤地域資源の活用 ⑥防災意識の向上 ⑦健康づくり ⑧イベント用映像機器 及び音響機器の整備	①意見交換会の開催 ②芳賀チャンネル等で 広報 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域伝統芸能の伝承 ⑤地域資源の活用 ⑥防災意識の向上 ⑦健康づくり		①意見交換会の開催 ②芳賀チャンネル等で 広報 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域伝統芸能の伝承 ⑤地域資源の活用 ⑥防災意識の向上 ⑦健康づくり
事業費	2,907,706	2,023,676	1,616,000	6,547,382	1,454,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,829,000	1,669,000	1,404,000	5,902,000	727,000
うち県交付金	1,414,500	834,500	702,000	2,951,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	78,706	354,676	212,000	645,382	727,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課みらい創生係
担当者名	高松 穂川
電話	028-677-6012
FAX	028-677-3123
E-mail	miraisousei@town.tochigi-haga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	芳賀町
事業名	芳賀町夏祭り祇園祭活性化事業
事業主体の名称	芳賀町夏祭り祇園祭実行委員会
代表者の名称	室町 一男
事業主体の所在	芳賀町大字祖母井749
事業主体の概要	目的: 明治11年から行われている夏祭り祇園祭の保存伝承と地域住民の世代間交流により、自治会の発展と地域コミュニティの増進を図る。 設立年月日: 平成27年4月1日 構成員: 実行委員 66名(自治会、総代会、神輿会、お囃子会、山車保存会、商工会、青年部、消防団、婦人部、育成会、公民館長、祭世話人、行政連絡員等)
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、自治会加入率が減少傾向にあり、地域活動への参加者も減少傾向にある。後継者の減少や高齢化が進む中、途絶えてしまった地域伝統行事も出てくるなど、地域に古くからある伝統行事の存続が危ぶまれている。また、子どもから高齢者までが交流する機会も減少してきており、伝統行事の継承と世代を超えた交流が地域課題として捉えられている。 住民自身が『地域の良さ』『地域の魅力』を感じる事が少なくなっていることも地域活動への参加者が減少している一因と考えられ、住民が地域を見つめなおし、地域の良さを再発見する機会が必要と考えられる。 現在のままでは地域住民活動が沈滞し地域活力が低下していくと懸念されており、活発な地域活動が求められている。
事業目的	・地域の伝統行事を継承していく。 ・自治会加入率を上げ、地域活動への参加者を増やす。 ・住民の郷土愛を醸成する。 ・世代を超えた地域住民の交流を促進していく。 ・郷土愛を育み、Uターンにつなげる。
事業概要	【平成30年度】 ◎夏祭り祇園祭の開催(平成30年7月21日(土)～22日(日)) ①被災した物品の修繕・・・東日本大震災で神輿の一部、提灯、飾り物等に被害を受け開催ができなくなっていたため、本事業により修繕を行い、祭りを復活させる。 ②地域伝統行事の復活・継承・・・子ども神輿、本社神輿、保育園・幼稚園の手作り神輿、山車屋台の引渡しにより、大人だけでなく子どもも祭りの中心になれる新たな祭りを開催する。伝統を踏襲しつつ新たな要素も取り入れ、今まで以上の賑わいを創出する。 ③地域資源の活用・・・実行委員会を中心に芳賀町商工会・商工会青年部・商工会婦人部・芳賀町消防団・祭世話人等の団体と連携して催しを行い、地域の方が幅広く集まる事業とする。 ○芳賀チャンネル等で広報(事業実施前後)・・・町ケーブルテレビ芳賀チャンネル等で活動内容の広報を行いPRすることで、地域活動参加者や自治会加入者の増加を図っていく。 ○お囃子会(月1回程度)・・・子どもたちが伝統芸能を学ぶ機会や披露する場を新たに創出し、次世代への確実な伝承を図る。学んだ地域伝統芸能を地域伝統行事で披露することで、意欲の向上と地域活性化の相乗効果を図る。町内お囃子会の指導を受け、祭りに向けて練習を始めている。中学生にとっては、伝統芸能を学ぶ貴重な機会であるとともに、郷土愛を育む場となっている。芳賀中学校においては、音楽の授業にお囃子を取り入れている。将来的には、Uターンにつながるよう継続していく。 ○昨年度は、当日の飛び入り参加者が多く町内外に広くPRすることができた。 【平成31年度】 ・取組を継続しつつ、効果を検証しながらさらなる取組を検討していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標 芳賀町への新しいひとの流れをつくる 15～45歳の純移動者数 H25 △101人→H31 144人【H29実績 △39人】 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。 純移動者数 H25 △104人→H31 171人 【H29実績 △35人】 地域コミュニティの維持と活性化(施策5-1-1) KPI: 自治会加入世帯数 H26 3,812世帯→H31 3,900世帯【H28実績 3,753世帯】 広報機能の充実(施策5-2-1) KPI: 必要とする行政情報が容易に入手できる。(NSI値) H27 64.5→H31 70.0【H29実績 63.2】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度			29年度			30年度			支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	①被災した物品の修繕 ②祇園祭の開催 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域資源の活用 ⑤芳賀チャンネルで放映 ⑥地域伝統芸能の伝承	①被災した物品の修繕 ②祇園祭の開催 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域資源の活用 ⑤芳賀チャンネルで放映 ⑥地域伝統芸能の伝承	①被災した物品の修繕 ②祇園祭の開催 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域資源の活用 ⑤芳賀チャンネルで放映 ⑥地域伝統芸能の伝承	①被災した物品の修繕 ②祇園祭の開催 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域資源の活用 ⑤芳賀チャンネルで放映 ⑥地域伝統芸能の伝承	①被災した物品の修繕 ②祇園祭の開催 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域資源の活用 ⑤芳賀チャンネルで放映 ⑥地域伝統芸能の伝承	①被災した物品の修繕 ②祇園祭の開催 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域資源の活用 ⑤芳賀チャンネルで放映 ⑥地域伝統芸能の伝承					
事業費	1,109,692	2,521,660	2,000,000	5,631,352	1,000,000						
市町支出金(ソフト事業分)	1,100,000	2,500,000	2,000,000	5,600,000	250,000						
うち県交付金	550,000	1,250,000	1,000,000	2,800,000							
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0							
うち県交付金	0	0	0	0							
その他自主財源等	9,692	21,660	0	31,352	750,000						

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課みらい創生係
担当者名	高松 稲川
電話	028-677-6012
連絡先 FAX	028-677-3123
E-mail	miraisousei@town.tochigi-haga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	芳賀町
事業名	延生地蔵尊夜待ち盆踊りを通じた地域の絆創生事業
事業主体の名称	延生地蔵尊夜待ち盆踊り保存会
代表者の名称	延生地蔵尊夜待ち盆踊り保存会 会長 水沼孝夫
事業主体の所在	〒321-3312 芳賀郡芳賀町下延生1641
事業主体の概要	<p>目的：延生地蔵尊に伝わる夜待ち盆踊りを保存伝承し、併せて地域住民間の世代を超えた交流と親睦をはかり、もって地域の発展と活性化を図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日：平成22年7月1日</p> <p>・保存会役員：25名(平成28年5月現在) お囃子会：男女こども 30名程度(目標)</p> <p>(自治会、地元総代、商工会、青年団、芳賀町女性団体連絡協議会、行政連絡員、お囃子会、有志等)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>芳賀町・下延生地区には、寛政11年(1799年)の古文書にも記載のある「延夜待ち」という伝統文化がある。かつては関東、さらには東北地方からも見物客が集まり、夜店・見世物が立ち並ぶ「夜祭り」として大変な賑わいをみせていたが、少子高齢化の影響もあり、徐々に参加者や見物客が減り、存続が危ぶまれる自体にまで陥っていたため、平成22年、地域の由緒ある「延夜待ち」の保存・伝承のため、延生地蔵尊夜待ち盆踊り保存会を設立し、盆踊りを盛り上げようと取組を行ってきたところ、徐々にではあるが賑わいを取り戻しつつある。</p> <p>しかし、少子高齢化の傾向は続いており、いかにして次世代の文化継承の担い手を呼び込んでいくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・地元の文化を伝承するとともに、世代間交流を促す。</p> <p>・住民の郷土愛を醸成し、住民自らが「好きな地区」とPRすることによりUJターンを促進する。</p> <p>・延生地蔵尊(城興寺)は、「とちぎの百様」に選定されていることから、後世に残したい・大切にしたい・自慢できる地域資源を活かし、ブランド力の向上を図る。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>◎延生地蔵尊夜待ち盆踊りの開催(平成30年8月23日(水))</p> <p>○お囃子会、歌い手育成、盆踊り講習会の開催(月1回程度)</p> <p>以前は、お囃子を外部委託していたが、前事業によりお囃子会の育成が進んだため、地元の人々で行うことができるようになった。</p> <p>帰省してきた親子や当日の見学者を対象にお囃子・盆踊りに参加してもらう。帰省者には、盆踊り当日だけでなく、練習にも参加してもらう。</p> <p>○盆踊り保存のための取組</p> <p>・協賛金(会員の募集)・事業に賛同いただける一般会員、賛助会員を広く募集する。</p> <p>・事業内容の検討、意見集約</p> <p>・老朽化した盆踊りステージ改修・整備</p> <p>・盆踊り用法被の購入</p> <p>・盆踊り講習会の実施 講習会の実施により参加団体の拡充を図る。</p> <p>○PR活動</p> <p>・芳賀チャンネル放映、新聞掲載、ポスターを町内(100枚)のほか隣接市町(50枚)に掲示。</p> <p>・「とちぎの百様」に選定されていることをPRする。</p> <p>【平成31年度】</p> <p>・取組を継続しつつ、効果を検証しながらさらなる取組を検討していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標</p> <p>芳賀町への新しいひとの流れをつくる 15~45歳の純移動者数 H25 △101人→H31 144人【H29実績 △39人】</p> <p>時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。純移動者数 H25 △104人→H31 171人【H29実績 △35人】</p> <p>地域コミュニティの維持と活性化(施策5-1-1) KPI:自治会加入世帯数 H26 3.812世帯→H31 3.900世帯【H28実績 3.753世帯】</p> <p>広報機能の充実(施策5-2-1) KPI:必要とする行政情報が容易に入手できる。(NSI値) H27 64.5→H31 70.0【H29実績 63.2】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①会員の募集 ②定期的に保存会役員会の開催 ③お囃子会・歌い手育成、盆踊り講習会開催 ④盆踊り用法被の購入 ⑤大会のPR(芳賀チャンネル放映、ポスター作成) ⑥盆踊りの実施	①会員の募集 ②定期的に保存会役員会の開催 ③お囃子会・歌い手育成、盆踊り講習会開催 ④盆踊り用法被の購入 ⑤大会のPR(芳賀チャンネル放映、ポスター作成) ⑥盆踊りの実施	①会員の募集 ②定期的に保存会役員会の開催 ③お囃子会・歌い手育成、盆踊り講習会開催 ④盆踊り用法被の購入 ⑤大会のPR(芳賀チャンネル放映、ポスター作成) ⑥盆踊りの実施		①意見交換会の開催 ②芳賀チャンネル等で広報 ③地域伝統行事の復活・継承 ④地域伝統芸能の伝承 ⑤地域資源の活用 ⑥防災意識の向上 ⑦健康づくり
事業費	1,702,347	1,405,300	1,130,000	4,237,647	750,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,150,000	750,000	630,000	2,530,000	250,000
うち県交付金	575,000	375,000	315,000	1,265,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	552,347	655,300	500,000	1,707,647	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課みらい創生係
担当者名	高松 翔川
電話	028-677-6012
連絡先 FAX	028-677-3123
E-mail	miraisousei@town.tochigi-haga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	芳賀町
事業名	西水沼自治会・住民交流推進事業
事業主体の名称	西水沼自治会
代表者の名称	会長 阿久津 英之
事業主体の所在	栃木県芳賀郡芳賀町大字西水沼490
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:相互の親睦融和をもって地域内住民の交流と町開発に寄与すること。 ・設立年月日:昭和41年4月1日 ・構成員等:西水沼地域内住民 約280世帯(1,000人)
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>芳賀町・西水沼地区は、芳賀町中心部から離れたところにあり、町内でも少子高齢化が顕著な地域である。そのため、自治会員の高齢化や次世代を担うはずの若者の流出により、近年、自治会加入率が減少傾向にある。西水沼地区にとって自治会は、住民の交流の場となるだけでなく、災害の際には隣近所で助け合う文化を根付かせてきたなくてはならないもので、自治会活動の衰退は、地域住民の暮らしを脅かしかねない。</p> <p>そのため、いかにして子どもの地元離れを防ぎ、外に出て行った若者を呼び戻すかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内住民が交流する機会を設けるとともに、西水沼自治会の良さを認識してもらう。 ・子どもの郷土愛を醸成する。 ・ふるさと回帰・Uターンを促進する。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>《交流の場、子どもの郷土愛醸成》</p> <p>昭和の時代から、地域内住民の交流の場、地域の伝統文化であるお囃子を発表する場として開催してきた納涼祭やふれあい祭りを開催するとともに、近年の子どもや若者が好むものを取り入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○納涼祭の開催(平成30年8月) ○盆踊り、縁日ゲーム、お囃子 ○お囃子の練習(納涼祭開催前の数日間) ○冊子中の親子にも参加してもらう。 ○ふれあい祭り(平成30年10月) ・住民が育てたコスモスの観賞会、高齢者から学ぶ昔遊び会、お囃子発表会 <p>《Uターン促進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域外に出て行った若者にメールやSNSで納涼祭やふれあい祭りの日程を連絡する。(祭りの日程に合わせた帰省を促す) ・地域外からの来場者に対し、住民との会話の中で地域内のおすすめ物件や土地をPRする。 <p>【平成31年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組を継続するとともに、(特に外からの)来場者の意見を踏まえ、内容を改良する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標</p> <p>芳賀町への新しいひとの流れをつくる 15～45歳の純移動者数 H25 △101人→H31 144人【H29実績 △39人】</p> <p>時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する。純移動者数 H25 △104人→H31 171人</p> <p>【H29実績 △35人】</p> <p>地域コミュニティの維持と活性化(施策5-1-1) KPI:自治会加入世帯数 H26 3,812世帯→H31 3,900世帯【H28実績 3,753世帯】</p> <p>広報機能の充実(施策5-2-1) KPI:必要とする行政情報が容易に入手できる。(NST値) H27 64.5→H31 70.0【H29実績 63.2】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①納涼祭 ②ふれあい祭り ③広報誌及び芳賀チャンネルでの活動内容PR	①納涼祭 ②ふれあい祭り ③広報誌及び芳賀チャンネルでの活動内容PR	①納涼祭 ②ふれあい祭り ③広報誌及び芳賀チャンネルでの活動内容PR		①納涼祭 ②ふれあい祭り ③広報誌及び芳賀チャンネルでの活動内容PR
事業費	446,098	480,897	440,000	1,366,995	420,000
市町支出金 (ソフト事業分)	420,000	420,000	420,000	1,260,000	210,000
うち県交付金	210,000	210,000	210,000	630,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	26,098	60,897	20,000	106,995	210,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課みらい創生係
担当者名	高松 福川
電話	028-677-6012
連絡先 FAX	028-677-3123
E-mail	miraisousei@town.tochigi-haga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	芳賀町
事業名	そば打ちによる地域交流推進事業
事業主体の名称	下高根沢そば打ちサロン
代表者の名称	会長 岡田 全
事業主体の所在	芳賀町大字下高根沢425-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:生きがいをもち、地域と積極的に交流を深める。 ・設立年月日:平成27年12月20日 ・構成員等:19名(農業者、一般企業退職者、役場退職者等)
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>芳賀町北部に位置する下高根沢地区は、農業が盛んで、特に八溝そば街道にも比較的近いことからそばづくりが盛んであるほか、県下でも有名な大企業があり、その企業に勤めるために移住してきた人も多く住んでいる地域である。近年、団塊の世代の退職に伴い、これまで仕事中心に生きてきた人達が、退職後の生活の変化に順応できず、家庭内及び地域内で孤立してしまっているケースがよく聞かれるようになった。孤独を感じ生きがいを見失うことは、認知症を発症するきっかけにもなるとも言われる。</p> <p>また、下高根沢地区は若者の流出が多く、退職後の世代の割合が比較的高いため、このままいけば将来的に高齢者を支えることができなくなり、地域が衰退していく恐れもある。</p> <p>そのため、いかにして退職後も元気に生きがいを持って生きることができ、地域を支える若者を呼び込んでいくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・定年後の男性の居場所、生きがいをつくる。 ・認知症を予防する。 ・「定年しても楽しく暮らせる地域」として、人を呼び込む。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○そば教室の開催(月数回) ・下高根沢地区でもよく生産される「そば」を活用し、近年中高年男性が興味を持つ「そば打ち」を学ぶ。 ・退職後の男性のみではなく、高齢者から子どもまで参加可能。 ○活動の幅を広げる ・そばの説明会開催、そば圃場見学、そば挽き体験の検討 ・防災訓練に併せて「そばの炊き出し訓練」を行う。 ○活動PR ・自治会行事等におけるそばの提供。 ・町内の広報紙に掲載し、会員の増員を図る(目標:会員数22名→40名)。平成30年度は、2名増員し22名体制になった。 <p>【平成31年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同様の取組を継続するとともに、活動の幅を広げていく。 ・30~40代が「退職後も元気で生き生きと暮らしている地区」なら移住したいと思ってもらえるよう、活動をPRしていく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標 芳賀町への新しいひとの流れをつくる 15~45歳の純移動者数 H25 △101人→H31 144人【H29実績 △39人】 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。純移動者数 H25 △104人→H31 171人【H29実績 △35人】 地域コミュニティの維持と活性化(施策5-1-1) KPI:自治会加入世帯数 H26 3,812世帯→H31 3,900世帯【H28実績 3,753世帯】 町民の健康度の向上(施策4-1-4) KPI:健康づくりに取り組みやすい環境が整っている。(NSI値)H27 61.2→H31 66.0【H29実績 63.3】 広報機能の充実(施策5-2-1) KPI:必要とする行政情報が容易に入手できる。(NSI値) H27 64.5→H31 70.0【H29実績 63.2】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①世代間交流 ②芳賀チャンネルで放映 ③健康づくり	①世代間交流 ②芳賀チャンネルで放映 ③健康づくり ④炊き出し訓練	①世代間交流 ②芳賀チャンネルで放映 ③健康づくり ④炊き出し訓練		①世代間交流 ②芳賀チャンネルで放映 ③健康づくり ④炊き出し訓練
事業費	106,900	378,776	328,427	814,103	70,000
市町支出金(ソフト事業分)	90,000	300,000	220,000	610,000	35,000
うち県交付金	45,000	150,000	110,000	305,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	16,900	78,776	108,427	204,103	35,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課みらい創生係
担当者名	高松 稲川
電話	028-677-6012
FAX	028-677-3123
E-mail	miraisousei@town.tochigi-haga.lg.jp